

名鉄広見線活性化への取り組みについて

1 名鉄広見線活性化計画の目標

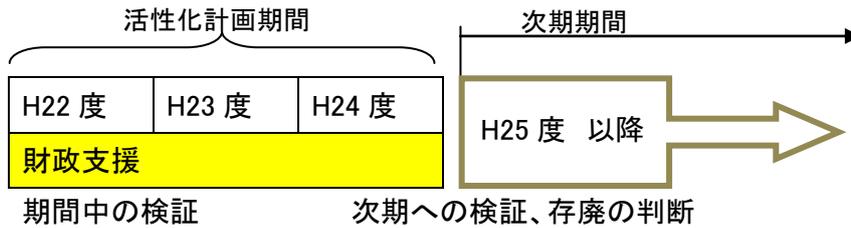
活性化の基本的考え方

利用促進策を展開し、輸送人員の段階的な増加を図り、収支改善を進める。

▼活性化計画の期間 平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 年間

計画期間では、利用者の減少に歯止めをかけて増加に転じさせる。

また、この間の利用者数の推移や収支の状況、取り巻く環境変化などについて総合的に評価を行い、存廃の判断を含む平成 25 年度以降の対応について協議する。



活性化計画における利用者増加目標数値			
区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
通勤利用	308 千人	327 千人	331 千人
通学利用	558 千人	558 千人	558 千人
定期外利用	216 千人	221 千人	222 千人
合 計	1,082 千人	1,106 千人	1,111 千人

2 平成 22 年度利用促進への取り組み結果について

①利用促進事業

施 策	主な実施内容	目標利用者数	利用者実績数
学校教育関係の組織を主体とする利用促進	・校外学習利用 (42 団体)	5,840 人	5,723 人
経済団体を主体とする利用促進	・商店連携事業 ・写真コンテスト	8,760 人	5,047 人
移動環境の整備による利用促進	・御嵩駅前駐車場整備 ・ECO バス運行	43,400 人	51,736 人
住民団体・サポーターによる利用促進	・各種イベント開催	2,190 人	9,811 人
通勤等での利用促進	・電車通勤モニター事業 (17 名)	3,650 人	3,764 人
合 計		63,840 人	76,081 人

3 広見線(新可児駅～御嵩駅)輸送人員実績

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	比較増減
通勤利用	264 千人	266 千人	2 千人増
通学利用	559 千人	536 千人	23 千人減
定期外利用	186 千人	193 千人	7 千人増
合 計	1,009 千人	995 千人	14 千人減

■目標利用者数 1,082 千人に対し、輸送人員実績は 995 千人 (87 千人下回る)。

■平成 21 年度輸送人員実績 1,009 千人から 14 千人の減少

(通勤利用者 2 千人増、定期外利用者 7 千人増、通学利用者 23 千人減少)

4 平成 23 年度の重点的取り組み

(1) 通勤・通学利用の拡大を図る。

⇒⇒⇒電車通勤モニター制度の充実、同制度の P R 強化

(2) 定期外利用の一層の拡大を図る。

⇒⇒⇒団体利用助成制度の充実、同制度の P R 強化

区域外からの集客が見込めるイベントの開催

(3) 移動環境の整備

⇒⇒⇒住民団体との連携による整備

《参考》

